

第31回 子規顕彰全国短歌大会

正岡子規の業績を受け継ぎ短歌の普及を図ろうと、10月27日に子規記念博物館で「第31回子規顕彰全国短歌大会」が開催されました。平成29年の子規誕生150周年を控え、第三十一回の節目として新たな選者を迎え、後援賞を新設しました。1,700首の応募の中から選ばれた特選14首・後援賞(①日本歌人クラブ賞 ②短歌研究社賞 ③角川『短歌』賞 ④現代短歌社賞)を紹介します。(敬称略)



箏の演奏

平成26年 松山市年賀交歓会

新年を迎えるに当たり、年賀交歓会を開催します。お誘い合わせの上、ぜひお越しください。

【日時】平成26年1月6日(月) 12時10分～14時(開場は11時45分、交歓は12時10分、式典は13時)

【会場】総合コミュニティセンター(湊町七丁目)
【主催】市、市議会

【協力団体】松山商工会議所、市社会福祉協議会、市農林業組合関係団体連絡協議会、市文化協会

【交歓】(コミュニティプラザ) お茶席、箏の演奏、「まつやま農林水産物ブランド」などの試食、市政PR展示コーナーなど

【式典】(キヤメリアホール) 主催者・協力団体のあいさつ、来賓祝辞など
※どなたでも参加できます。会場の駐車場(有料)には限りがあるため、公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせは、秘書課
☎946200・☎932187
7、(議総務課)☎946646・☎9211110へ

秋葉 四郎選

古稀過ぎて海苔養殖に励みをり健やかなれば日々が楽しも
南 静子(大分県)

① 両の手に運びし白石ぬくきまま伊勢遷宮の斎庭に納む
山口 さよ(三重県)

永田 和宏選

③ じゃあまたなお母さまにもよろしくな元気でなと暮を撫でけり
久間 恵美(三重県)

通学の子ら自転車に沈下橋渡りてその影水面に揺るる
佐々木 加代子(今治市)

愚陀仏庵雨に崩れしちのこと馴れぬネットに検索しをり
小山 照子(東京都)

坂井 修一選

② ひとりでは惜しい月夜と写メールの届きて君とおなじ月見る
橋本 紀代子(松山市)

原子力学びし息子の夢破れいま被災地の取材に走る
高橋 征子(新居浜市)

梅雨晴れの空青ければ押し押され日を奪ひ合ふ今朝の蓮の葉
前川 久宜(石川県)

深夜二時準夜勤務を終えし娘を迎えて仰ぐ月のあかるさ
佐藤 恭子(岡山県)

倉林 美千子選

お問い合わせは、(教子規記念博物館)☎9315566・FAX 9343416へ

まつやま環境フェア

きいてみて!あそんで!エコについて考えよう!!
入場無料

【日時】12月22日(日) 10～15時
※先着200人にエコグッズをプレゼント

【会場】総合コミュニティセンター(湊町七丁目) 1階コミュニティプラザなど
※自転車・公共交通機関などをご利用ください

【内容】リサイクル家具展示即売会、エコ体験ブース、ご当地グルメなどのフードブースなど

お問い合わせは、環境事業推進課☎946434・☎9341861へ

ステージイベント

エコ科学実験 なめちゃん
ドキドキ♥ワクワク!! 子どもたちの「なぜ!?!」「どうして!?!」を大切にしたい科学実験パフォーマンス!!

エコ★コーナー

▲ネイチャー工作に挑戦
◀風力発電を作ろう!
【対象】小学生
【定員】25人(先着順)など

秋まつりの宮出し前の一番太鼓打ち鳴らす吾か暗闇の中
清水 三四郎(松山市)

④ 弟の臓器ひきつぐ四人のひと社会復帰の喜びを記す
上久保 みどり(岐阜県)

尾形 湧子選

ふつくらと実りし稲穂は頭垂れセシウム検査の明日を待ちあゝる
高野 伊津子(千葉県)

早苗田あり穂孕む福田も広がりにメコンデルタに風わたりゆく
小谷 悦子(福岡県)

両腕に双子を抱えカバン提げゆきゆき来るはわが家の嫁ご
好本 幸恵(山口県)

第2回 都市景観魅力発見 バスツアー参加者募集

都市景観賞を受賞した松山らしい景観づくりに貢献している建築物などの見学会を開催します。



南斎院町の長屋門のまちなみ

地域で育つ松山っ子
第35回 椿小学校
児童数 男502人・女411人・計913人(平成25年11月1日現在)



感謝の気持ちを込めた餅つき大会(平成24年度)

「未来へ」米作りを通して

椿小学校では長年、地域の人の協力を得て、6年生がもち米作りの体験をしています。6月、6年生154人が田植えをしました。学校で用意した地下足袋を履いて田んぼに入った子どもたちのほとんどは、初めて田植えを経験するため、田んぼの中を歩くのも一苦労の様子です。地域の人が優しく丁寧に教えてくれたおかげで、なんとか無事に植えることができました。10月には6年生全員で稲刈りをし、12月には、いよいよ餅つき大会です。毎年、たくさん地域の人が集まって手伝ってくれます。大会では、6年生が全校児童分のお餅をついて



地域の人に助けられ、横一列に並んで田植え

松山っ子の声
沼のような田んぼの土で服や顔が汚れたり、足が抜けずに苦戦したりしたけれど、真剣に植えた小さな苗の成長が楽しみです。(6年男子) 苗を植えていくうちにだんだん楽しくなりました。田植えの土地を貸してくれた人や米作りを教えてくださいました人へ感謝しています。(6年女子)

お問い合わせは、都市デザイン課☎946848・FAX 9341807へ